

全米テレビ界の恐るべき全貌を抉る衝撃の大作!



オリエン特急行殺人事件◆狼たちの午後◎ロバート・ロドリゲス
シドニー・ルメット
監督作品

ネットワーク

デラックスカラー
パナビジョン

◆フェイ・ダナウェイ ◆ウィリアム・ホールデン ◆

製作ハワード・ゴットフリード ◆

撮影オーエン・ロイズマン ◆

ユナイテッド映画

United Artists

A Bantam Company



◆ピーター・フィンチ ◆ロバート・デュバル ◆

◆脚本バディ・チャップスキー ◆

(サム・ヘドリン著・岩波書店刊)

◆音楽エリオット・ローレンス ◆

◆全米TV界の恐るべき 実態を剥いだこの衝撃!

かつて、映画の都ハリウッドは「夢の工場」といわれた。大衆の求める夢と希望をあらゆる形で提供しうる映像娯楽の雄として70有余年、圧倒的な優位で君臨し続けた映画界も、しかしいまや完全にその地位をTVというメディアに奪とられた。ただか20インチの小さな画面から間断なく放出されるあらゆる娯楽ソース。より身近に、より扇情的を身上に、TVは大衆の娯楽志向にさながらアメーバのように深く食い込んできた。だがしかし、TVは映画スクリーンにとって代わった単なる娯楽提供体なのか——? 一本の番組が製作されるために、果してどんなカラクリとプロットが隠されているのか——?

これは、1%の視聴率の伸びが、即、数百万ドルの増収となつてはね返ってくるABC、NBC、CBSそしてUBSの全米巨大ネットワークの世界を背景に、TV界出身の名匠シドニー・ルメット監督(「狼たちの午後」)と名ライター、パディ・チャイエフスキーが組んで、古巣TV界の想像を絶するショッキングな内幕を大胆な設定で抉った娯楽大作だ。TVという高度に発達した競争社会を生き抜く大都会の男と女の姿を中心に、マスコミ社会の恐るべき実態が鮮烈に浮きぼりにされている。

◆たった一つの愛が育つことも許されない虚構の世界…

ダイアナ(フェイ・ダナウェイ)……一介のTVリポーターから、全米四大ネットワークの一つUBSに食い込み、並み外れた美貌と才気を武器に、たちまち編成局主任という地位をものにした細腕ならぬ凄腕。シューマッハー報道部長に代わって番組企画に口を出すようになった彼女は、落ち目のニュースショーを立て直すため、女とは思えぬ凄まじいアイデアを繰り出し、遂に視聴率48%という史上屈指の報道番組を生み出すに至る。しかし、甘い成功もつかの間、思わぬところから足元が崩されようとは、このときまだ気がついてはいない。視聴率至上のTV界が生んだ怪物的キャラクターであり、映画史上希にみる強烈な個性をそなえたヒロイン。

マックス・シューマッハー(ウィリアム・ホールデン)……UBS生え抜きの報道部長として、かつて28%の人気を誇った「ハワード・ビールのイブニング・ニュース」を制作した実績の持主。ダイアナや社長フランク・ハケットらの視聴率至上主義と終始対立しながらも、一時家庭を忘れてダイアナとの不毛の愛にのめりこむ。親友ハワード・ビールの精神状態をも気づかう本編中、最も人間くさいキャラクター。

ハワード・ビール(ピーター・フィンチ)……私生活の悲運も相乗して、除々に身心が触まれていくかつての人気アンカーマン。歯止めのきかないほど無法化が進行する近未来のTV界が生み出した悲劇のロボットであり、犠牲者である。

フランク・ハケット(ロバート・デュバル)……巨大コングロマリットCCAの有能な構成員から、UBSネットの新社長に下った冷徹なやり手組織人間。企業のトップとして利潤追求しか頭にない。

◆視聴率戦争に飛びこんだ 絢爛4大スター!

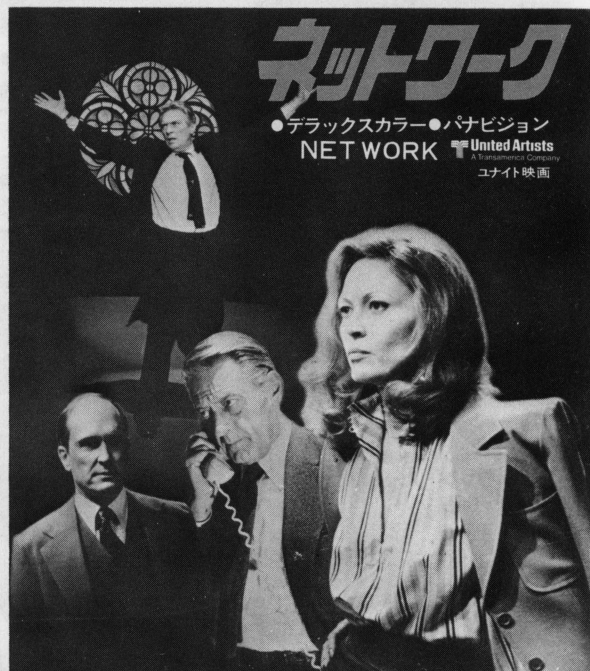
主演は、UBSネットワークの女性編成主任として、男顔負けの権謀を弄して視聴率戦争の最前線をつつ走る魔性の女ダイアナに、このところ悪女役に定評のあるフェイ・ダナウェイ(「タワーリング・インフェルノ」)、ダイアナとの不倫に一度は溺れながら、あまりにも過激な愛についていけなくなり、決然と女のもとを去るUBSの報道部最高責任者に老練ウィリアム・ホールデン(「タワーリング・インフェルノ」)、奇妙な人気と運命の転変にほんろうされるUBSのニュース・アンカーマン(ニュース・キャスター)にピーター・フィンチ(「失われた地平線」)、ダイアナとともに視聴率至上主義にこりかたまつたUBSネットの社長にロバート・デュバル(「キラール・エリート」)という4大スターを中心に、「トラ・トラ・トラ」のウェズリー・アディ、「脱出」のネッド・ビーティら重厚な演技陣がこれに絡んでいる。久しぶりに大ニューヨークの息吹きを鮮かに表出した撮影は「コンドル」「サウスダコタの戦い」の名手オーエン・ロイズマン。音楽を新人エリオット・ローレンスが担当し、現場の臨場感を盛りあげている。

★スタッフ

監督……………シドニー・ルメット
製作……………ハワード・ゴットフリード
原案・脚本……………パディ・チャイエフスキー
撮影……………オーエン・ロイズマン
音楽……………エリオット・ローレンス

★キャスト

ダイアナ・クリステンセン……………フェイ・ダナウェイ
マックス・シューマッハー……………ウィリアム・ホールデン
ハワード・ビール……………ピーター・フィンチ
フランク・ハケット……………ロバート・デュバル
ネルソン・チャニー……………ウェズリー・アディ
アーサー・ジェンセン……………ネッド・ビーティ



1月29日(土)よ待望の
ロードショー

有楽町・朝日新聞社ウラ

丸の内ピカデリー (201) 2881

紀伊国屋ビルウラ

新宿ピカデリー (352) 1771

★お得な特別鑑賞券¥1000<一般¥1300の処>劇場窓口にて絶賛発売中!

■団体鑑賞のお申込みは両劇場又は松竹レジャー・エージェンシー(541)8143まで